

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年2月日

事業所名 えーる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	・建物自体が古いため、指導室の使い勝手が悪く、音も漏れやすいため、パーテーションやイヤーマフを使用するなどの工夫をしています。
	2 職員の配置数は適切である		○	・法律で定められた職員の配置基準では子どもたちへの細やかな支援が難しいので、子どもの様子に合わせて配置規準以上に職員を配置していますが、子どもの状況や活動に寄っては十分な対応が難しいこともあるので適切な配置に今まで以上に努めています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	・段差の解消や手すりの設置等を行っています。 ・建物は古いですが、子どもたちが心地よく安全に過ごせるような空間を作れるように努めています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・オンラインを活用した研修等の情報提供を行っています。 ・研修内容について意見交換をしたり、報告をする機会を十分に持つことができていないため、今後は情報共有して研修したことを更に深めていけるように努めています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	・アセスメントシートを作成して聞き取りを行い、子どもたちの状況を把握できるようにしていきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・職員の意見を参考にして、いろいろな視点を盛り込んだ活動プログラムを立案していきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		○	・ガイドラインの基本活動を組み合わせた活動設定になっていますが、ガイドラインを職員で周知し、支援の充実を図ります。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・専門機関と連携し、指導室の構造化や支援の方法などについて助言をいただいています。今後も定期的に助言をいただける機会を持ちたいと思います。
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・感染対策を十分にして、児童館の行事に参加したり公園を利用するなど、地域の資源を利用する中で、地域の子どもたちと交流する機会を持つようにしています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年2月日

事業所名 えーる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・改善すべき点
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	・協議会への参加はしていますが、今後は全職員に協議会等の意義などについて伝えていき、市として取り組んでいることにも興味をもってもらえるようにしていきます。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	・保護者学習会などの検討を行います。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・保護者同士が交流できる場づくりの検討や情報提供を行います。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・毎月、おたよりを作成し配布しています。また、いろいろな連絡事項についても、その都度文書で伝えるようにしています。 ・マチコミを活用し、情報を提供をしていきます。
	35 個人情報に十分注意している	○		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・現在はコロナ禍で行事を縮小していますが、現状の中でもできる方法を検討していきます。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	・色々な状況を想定した訓練を計画的に行うことができるようにします。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・職員研修を行ったり、半年に1回虐待チェックリストを各自チェックして、自身の行動を振り返る機会を持つなどして虐待防止に努めています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・座位保持装置の使用など支援の中でやむを得ず身体拘束を行う可能性のある場合には、支援計画に記載し保護者の同意を得ています。今後も定期的に必要性について支援者間で協議していきます。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・アレルギーのある方は、医師の指示書を提出していただいています。また、詳細については保護者の方に確認しながら対応しています。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・事例集は作成していませんが、回覧したり、会議で共有するなどして職員間で把握し、再発防止に努めています。